

<p>【イベント名】 第51回 APAN会議 歯科</p>	<p>【概要】 歯科はCOVID-19の感染拡大により影響を大きく受けた領域の一つである。病院の閉鎖や患者数の減少は、歯学部が対峙した大きな課題である。その一方で、医療施設はこれまでどおり、十分な経験のある歯科医師を輩出することを求められる。このセッションでは、学部長や決定権を持つ参加者がこの問題について議論し、それぞれの経験を共有した。</p>
<p>【期日】 2021.02.02</p>	
<p>【会場】 アイルランガ大学 (インドネシア), インドネシア大学 (インドネシア), ブラウィジャヤ大学 (インドネシア), 九州大学病院 (日本), ハサヌディン大学 (インドネシア)</p>	
	
<p>オーガナイザーを務めるDr. Aqsa.</p>	<p>モニタに映し出される接続施設。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>提示されたスライド。</p>	<p>提示されたスライド。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>インドネシア大学からコメントする医師。</p>	<p>ハサヌディン大学からコメントする医師。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>